



# 学校だより第2号



神奈川県立伊勢原支援学校

令和5年6月23日

## 「はたらくこととは」

5月8日(月)より新型コロナウイルス感染症が、5類感染症に移行されました。これに伴って、マスクの着用が個人の判断になったり、濃厚接触者の特定を行わなかったり、変更された点もあります。しかしながら、新型コロナウイルス感染症がなくなったわけではないので、学校としては、引き続き感染症対策は継続してまいります。ご家庭におかれましても、引き続き健康観察等、ご協力をお願いします。

さて、6月は、高等部及び分教室では、校内実習や現場実習が行われます。分教室ではインターンシップ実習も始まっています。

改めて、「はたらく」ことについて考えてみましょう。

小学部では、「はたらく」上でベースとなる心と体の健康や日常生活に必要な力を育み、家族や友達そして教員とのやりとりから人間関係の広がりや意思の表出を引き出していきます。

中学部では、日常生活に必要な力を身に付けるとともに、作業学習も始まり、コミュニケーション能力の向上等社会性の基礎づくりを狙っています。

そして高等部では、1年生で自分に合う仕事は何か、自分の強みは何かを知る段階、2年生で現場実習の経験等を通して卒業後の自分のイメージを深める段階を経て、3年生で実際に、自分の良さを活かして主体的な進路選択につなげていきます。

学校運営協議会委員の方から「はたらく意欲の大切さ」についてお話をいただいたことがあります。長く続けるには、お給料をためて、欲しいものを買ったり、旅行へ出かけたりなどの目的を持つことや、自分が働くことで親や周りの人に喜んでもらったり感謝されたりすることで、さらに頑張ろうという気持ちになれます。

『「はたらく」とは、はた(まわり)を楽にすること』という言葉があります。誰かのためにはたらくことが自分の生きがいにつながれば素晴らしいと思います。

将来、子どもたちが働く意味を見出し、自己実現できる未来につながるよう、ご家族とともに学校全体で支援していきたいと思っております。

副校長 吉田 浩司

## 「高等部2年 宿泊学習」

5月16日(火)17日(水)の2日間、愛川ふれあいの村へ宿泊学習に行ってきました。日頃の行いが良かったためか、晴天にも恵まれ、初体験の人も多かったビュッフェや、久々の泊りを体験することができました。

その中でも、事前学習から係ごとに計画を立て、協力してキャンドルファイヤーなど取り組むことで学年全体の絆を深めることができた1泊2日でした。



## 「高等部3年修学旅行」

5月28日(日)~30日(火)名古屋方面へ修学旅行に行ってきました。



1日目の名古屋港水族館では、シャチやイルカのショーを楽しみました。2日目は、あいにくの雨でしたがリトルワールドで楽しみにしていた食べ歩きもできました。3日目は天気にもめぐまれ、名古屋城をバックに記念撮影。おいしい名古屋めしを食べました。

新幹線やホテルの食事、温泉も満喫し、大満足。事前学習で調べたり、計画を立てたりしたことが実現できた3日間は、笑顔がいっぱいでした。

## 「伊志田高校宿志祭 体育部門」

5月26日(金)、伊志田高校宿志祭体育部門に参加をしました。当日は天候にも恵まれ、桃、黄、青、紫の4色の組に分教室の生徒も分かれ、伊志田高校生と一緒に競技に臨みました。障害物借り物競走、台風の目、部活対抗リレー、綱引き、大縄跳び、色別リレーと、大きな声援のもと、力いっぱいパフォーマンスができました。それは体育祭終了後のみんなの表情に表れていたと思います。伊志田高校生ともよい交流ができました。保護者の皆様、応援ありがとうございました!



## 「小学部5年宿泊学習」

5月23日(火)~24日(水)の一泊二日で「愛川ふれあいの村」に行ってきました。

1日目、たくさんの教員に見送られ学校を出発。「ふれあいの村」では万華鏡づくりを体験して、素敵な万華鏡が完成しました。

夕方になると、「帰れるかな?」と荷物を持って下駄箱に行ってみたり、座って待ったり。親元を離れて夕食、入浴、就寝は初めての体験でした。緊張もあったかと思いますが、笑顔がたくさん見られた宿泊学習となりました。

初めての宿泊、楽しい思い出の1ページとなりました。

